



宇都宮市立図書館にある

「八田氏から宇都宮氏へ～中世武士団の成立～」



に関する本

◆八田氏と宇都宮氏

『常陸西部と下野南東部の城 宇都宮氏と八田氏の関係を考える』

(宇都宮市教育委員会 2008) 【K210/ウ】

宇都宮氏の一族といわれている八田氏（のちの小田氏）や笠間氏が拠点とした常陸西部や、下野南東部の城，中世遺跡を紹介している。

『常陸中世武士団の史的考察』

(糸賀茂男／著 岩田書院 2016) 【213.1/イ】

常陸中世の中でも，常陸平氏・八田氏に重点をおいた研究書。小田氏の成立，発展などを考察している。P88～95「常陸小田氏の成立」で八田知家の在地基盤と宇都宮との関係を論じている。

『東国守護の歴史的特質』

(松本一夫／著 岩田書院 2001) 【K200.4/マ】

中世の東国守護に関する総合的な研究書。P54～55「下野・相模・下総以外の東国守護 1 常陸」。八田知家の出自や，常陸の守護に任せられ，勢力を拡大していく概要を述べている。

『宇都宮郷土史』

(徳田浩淳／著 ヨークベニマル 1996) 【K210/ト】

P32の「宇都宮氏系図」と合わせ，同P9からの「歴代城主の沿革」を見ると，初期宇都宮氏と八田氏の関係が分かる。再編復刻版。

『宇都宮城物語』

(福田三男／著 下野新聞社 2007) 【K210/フ】

藤原（宇都宮）宗円らの姻戚関係や，知家らが「八田」の姓を名乗っていたことなどから，宇都宮氏のもともとの土着地が栃木・茨城の境であった説を紹介している。

『宇都宮の歴史』

(徳田浩淳／著 下野史料保存会 1970) 【K210/ト】

宇都宮城の歴代城主の中で，二代城主である藤原（宇都宮）宗綱が一度常陸を相続した後，宇都宮家を継いだことや，八田を名乗っていたことが書かれている（P30～31）。

『下野中世史の新研究』

(新川武紀／著 ぎょうせい 1994) 【K200.4/シ】

P14～17「神官御家人宇都宮氏の発展」。宇都宮氏が文官的な武士であったことや，宗円が本拠地を常陸の八田から宇都宮に移したことを述べている。

『知られざる下野の中世』

(橋本澄朗・千田孝明／編 随想舎 2005) 【K200.4/ハ】 【213.2/ハ】

須藤聡／著「下野国中世武士団の成立—治承・寿永の乱以前の実状」の「宇都宮氏を見直す」(P57～58)では，いくつかの系統があった宇都宮氏の中で，八田氏出身の朝綱が受け継ぐことになったとしている。

『中世常陸名家譜 下巻』 (石川豊／著 暁書院館 1992) 【K288/イ】
P21～73 「第一章 道兼流小田氏の生い立ち」。藤原道兼を祖とし、八田氏として始まってから15代小田氏治まで、そして小田氏の支族の衰亡を記述している。

『宇都宮市史 3 中世通史編』 (宇都宮市史編さん委員会／編 1981) 【K210】
宇都宮市の歴史を調べるための基本資料。P43～48 「宇都宮氏の故地八田」。宇都宮氏と常陸方面の関係を指摘し、宇都宮氏のおこりを考察している。

◆八田氏と東国武士団

『下野の武将たち』 (毎日新聞社宇都宮支局／編 落合書店 1978) 【K280/マ】
P87～91 小林友雄／著 「八田知家 重職を得たころはすでに出家の身」。源頼朝の平家追討や曾我兄弟の仇討ちなどにおける、知家の逸話を描いている。

『里の国の中世 常陸・北下総の歴史世界』 (網野善彦／著 平凡社 2004) 【213.1/ア】
将門の乱以後、常陸・北下総の地を舞台に、武家諸勢力の消長を描いている。常陸・北下総の武士の中で、八田知家が台頭していく経過も分かる。

『日本の歴史 12 中世武士団』 (石井進／著 小学館 1974) 【210.08/ニ】
P187～189 「多気義幹の滅亡」。常陸国南部の豪族の常陸大掾氏の変遷の中で、没落のきっかけをつくった武将として八田知家が登場している。

『その後の東国武士団 源平合戦以後』 (関幸彦／著 吉川弘文館 2011) 【213/セ】
坂東八カ国と伊豆・甲斐の国々に蟠踞した東国武士団。佐竹・小山・宇都宮・新田・足利・武田・伊東・千葉氏。彼らは、室町・戦国期をどのようにして生き抜いていったのか。その栄枯盛衰に迫る。P71～74 「小田氏」で、八田知家に始まる小田氏の盛衰を紹介している。

『東国の戦国合戦』 (市村高男／著 吉川弘文館 2009) 【210.4/イ】
15世紀末からの戦国期に、独自の地域を築いた東国武士団の動乱を描く。小田氏については、14世紀後半の一族の混乱期から触れている。

館内閲覧のみの資料も含まれています。

この他にも資料がありますので、図書館職員にお気軽にご相談ください。

宇都宮市立中央図書館

〒320-0845

宇都宮市明保野町7番57号

TEL : 028-636-0231 FAX : 028-639-0740

9:30～19:00 (金曜休館)
